

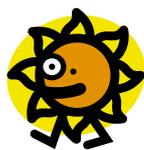
## ⚠️ 気をつけよう！「慣れ」と「油断」は事故のもと ＝活動時は危険予知・回避の心がけを＝

連合のボランティア活動も第9陣を数え、各組織内での情報共有もあって現地での活動はスムーズになってきています。しかし、慣れた頃が危険です。梅雨の蒸し暑い天気もあいまって、活動が進むにつれて疲労は蓄積していきます。事故予防のため、改めて以下の点に留意をお願いします。

活動現場では互いに声を掛け合って事故防止に努めましょう。

- **踏み抜き**：安全靴を履いていても油断は禁物！（靴の横から刺さった事例あり）。足場に注意し、不用意にガレキを蹴らないこと。
- **突き刺し**：折れた木材、物干し竿に当たる事例がある。作業動線上の危険物はすぐ処理する。ヘドロの中にガラス等が含まれているので、土のうを持つ際には抱えず上から持つ。
- **転倒**：津波のヘドロは油分を含むなどして滑りやすい。転倒時の頭部保護のためヘルメットを着用する。
- **重量物の運搬**：必ず十分な人数で行い、声かけ・息合わせを行う。無理な姿勢にならないよう注意する。指挟みに注意。
- **泥はね**：泥が目に入る、突起物の突き刺し予防のため、ゴーグルを着用する。
- **虫など**：虫刺され、ツツガムシ病などを予防するため、作業中は素肌を露出しないよう気をつける。竹やぶからマムシが出てきた事例も報告されているので注意。
- **疲労防止**：熱中症予防とあわせ、作業中はこまめに休息・水分・塩分をとる。ベースキャンプでは睡眠時間をしっかり取る（消灯・起床の厳守）。過度な飲酒は控える。

## 第9陣 活動レポート



### 宮城

#### ●仙台拠点

【6/4～5】亘理町内で、道路脇の側溝からの泥出し作業を実施。

**現地から** 電柱には、地上 3m の高さに津波の痕跡が残されています。側溝のフタは半分以上が津波で流されていたばかりか、他の場所から流されてきたと思われる別の側溝のフタが溝にはまっていることもあり、津波の威力を改めて実感しました。連合のボランティア隊は以前この地域で活動したこともあり、この日の活動を知った地域の方から飲物の差し入れを頂きました。

【6/6～9】亘理町内の寺で、境内の清掃作業を実施。墓地に堆積した土砂、漂着したワラなどを一輪車に乗せて捨てる作業（写真右）。作業中、卒業アルバムや資格証明書、賃金明細などを拾い、ボランティアセンターに預けました。



■仙台チーム作業の様子。墓地の区画や通路から運び出された土砂で、あっという間に山が出来上がった。（6日・亘理）

●千厩拠点

【6/5~6】 気仙沼市内で家屋の片づけ作業を実施。

**現地から** 現地は日陰になる場所が限られていることから、暑さ対策としてクイックシェード（簡易テント）を確保しました。ベースキャンプ内での暑さ、防虫対策なども課題になっています。

■千厩チーム作業の様子（8日・気仙沼）。奥にはクイックシェードが見える



福島

●福島拠点

【6/5~6】 南相馬市、相馬市、新地町で活動。相馬、新地では民家での片づけや側溝清掃、南相馬では民家の床はがし、泥出し作業などを実施（右写真：U字溝での泥出し作業の様子。上が作業中、下が作業後。）。



●会津拠点

【6/7】 郡山市、会津若松市で活動。郡山ではボランティアセンターでの野菜切り、避難所での食事提供。会津若松では支援物資の配布支援。

**現地から** 避難者の方との昼食会実施や、空き時間を利用したコミュニケーションなど、避難者の方々との交流もはかっています。

●いわき拠点

【6/5~7】 いわき市内で、ボランティアセンターで備品貸し出し・返却、洗浄作業。また、民家での清掃作業、側溝の泥出しを実施。

◆紹介◆「Japan Times」6月8日付に連合ボランティア隊（宮古チーム）の写真が掲載されました。（記事と写真は無関係です）



連合本部・災害対策救援本部 ボランティア派遣担当班  
電話 03-5295-0555 FAX03-5295-0547（非正規労働センター）  
hiseiki@sv.rengo-net.or.jp